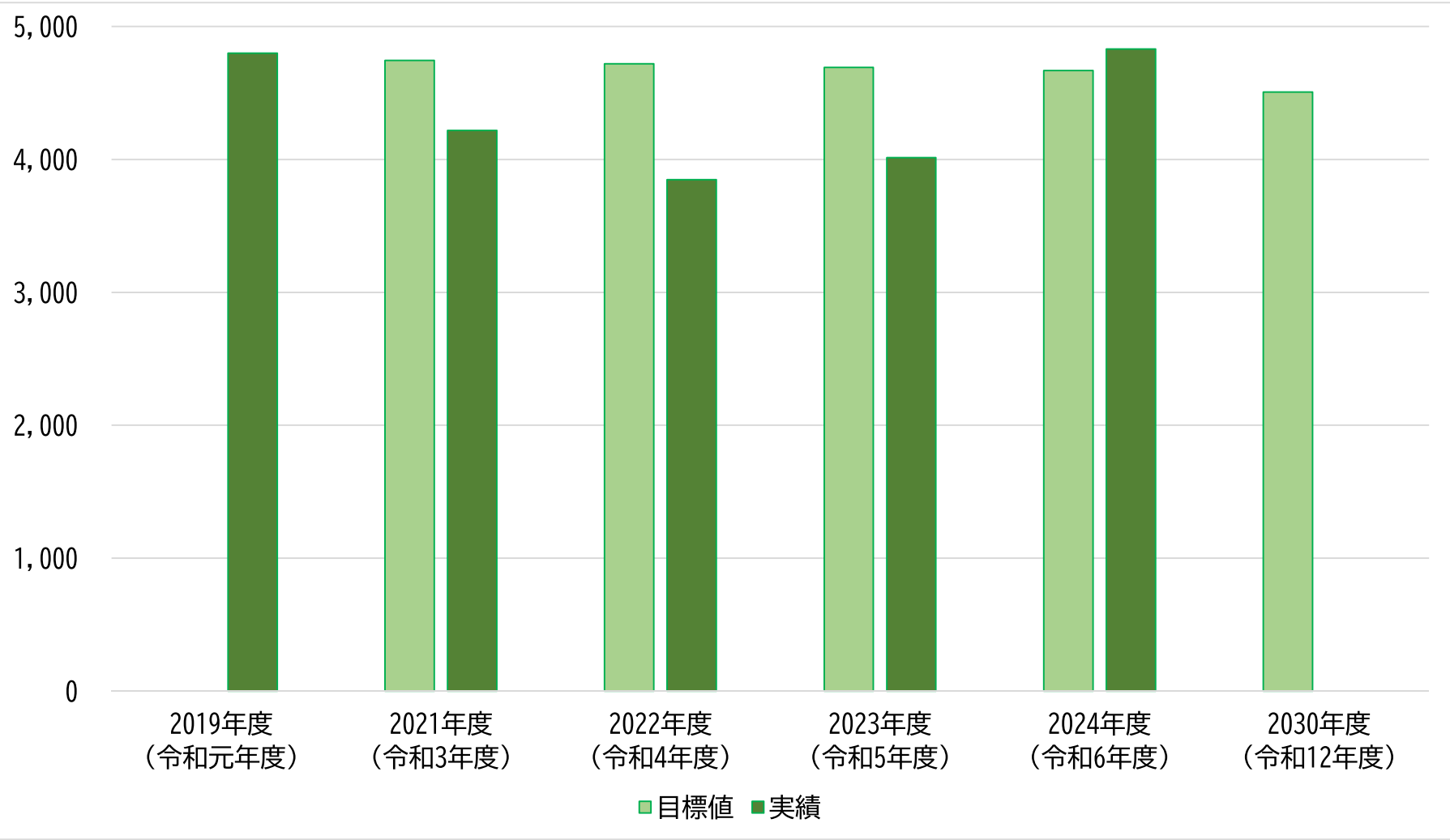


平川市環境保全率先行動計画実績

2021(令和 3)年 4 月に策定した「平川市環境保全率先行動計画」に基づき、2030(令和 12)年度までに 2019(令和元)年度の二酸化炭素排出量から 6%削減することを目標とします。
事業所としての市の事務・事業を対象とし、二酸化炭素排出量削減に取り組み、その進捗状況及び点検結果を公開します。

1. 二酸化炭素排出量 単位：t-CO2



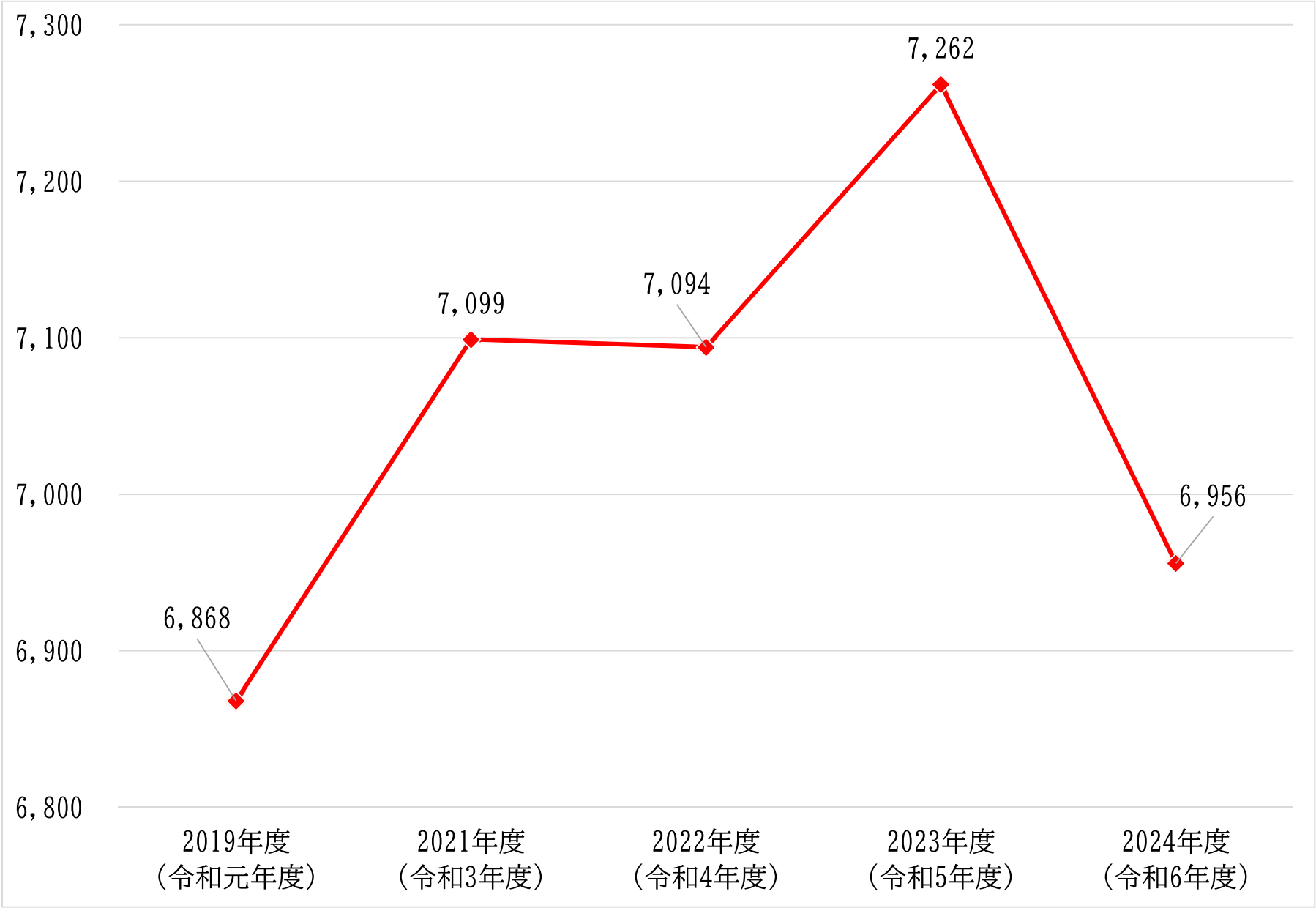
2019(令和元)年度との比較(%)

	目標値	実績	2019 年度比 (令和元年度)
2019 年度 (令和元年度)	-	4,799	-
2021 年度 (令和 3 年度)	4,745	4,217	87.87%
2022 年度 (令和 4 年度)	4,719	3,848	80.18%
2023 年度 (令和 5 年度)	4,692	4,014	83.64%
2024 年度 (令和 6 年度)	4,669	4,830	100.65%
2030 年度 (令和 12 年度)	4,506	-	-

2. エネルギー別使用量

①電力使用量

単位：千 kWh



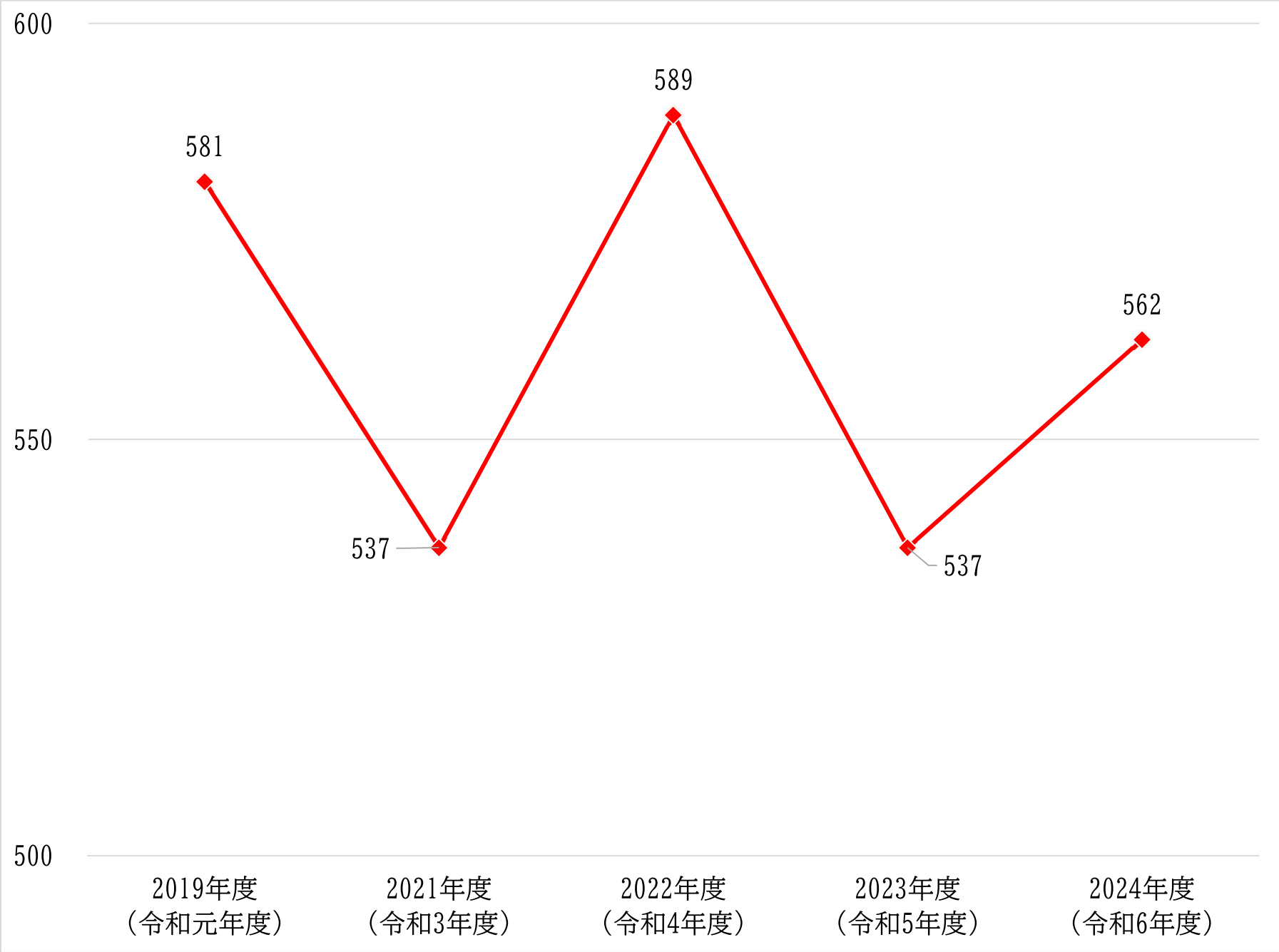
電力使用量比較

単位：kWh

	2019 年度 (令和元年度)	2021 年度 (令和 3 年度)	2022 年度 (令和 4 年度)	2023 年度 (令和 5 年度)	2024 年度 (令和 6 年度)
市民文化施設	373,239	405,556	412,004	415,427	344,692
社会教育施設	37,865	49,851	56,601	57,574	56,256
スポーツ・レク施設	1,144,667	1,005,942	845,955	810,481	847,336
観光、保養施設	468,250	437,717	427,004	470,567	447,203
産業施設	49,515	37,131	42,203	49,916	45,156
学校、給食センター	1,579,977	1,844,514	1,856,078	1,930,709	1,863,371
福祉施設	196,081	203,771	246,895	239,294	236,923
医療施設	49,401	59,653	61,608	48,511	50,972
庁舎、消防屯所	1,078,835	1,047,462	1,193,216	1,278,095	1,131,696
公営住宅	2,119	2,789	2,405	2,434	2,486
公園	41,316	138,881	122,034	135,894	137,284
上下水道施設	1,389,023	1,450,994	1,335,304	1,312,722	1,254,663
その他 (火葬場、倉庫等)	457,466	414,396	492,324	509,901	537,600
車両	0	0	0	0	0
計	6,867,754	7,098,657	7,093,631	7,261,525	6,955,638

②灯油使用量

単位：kl



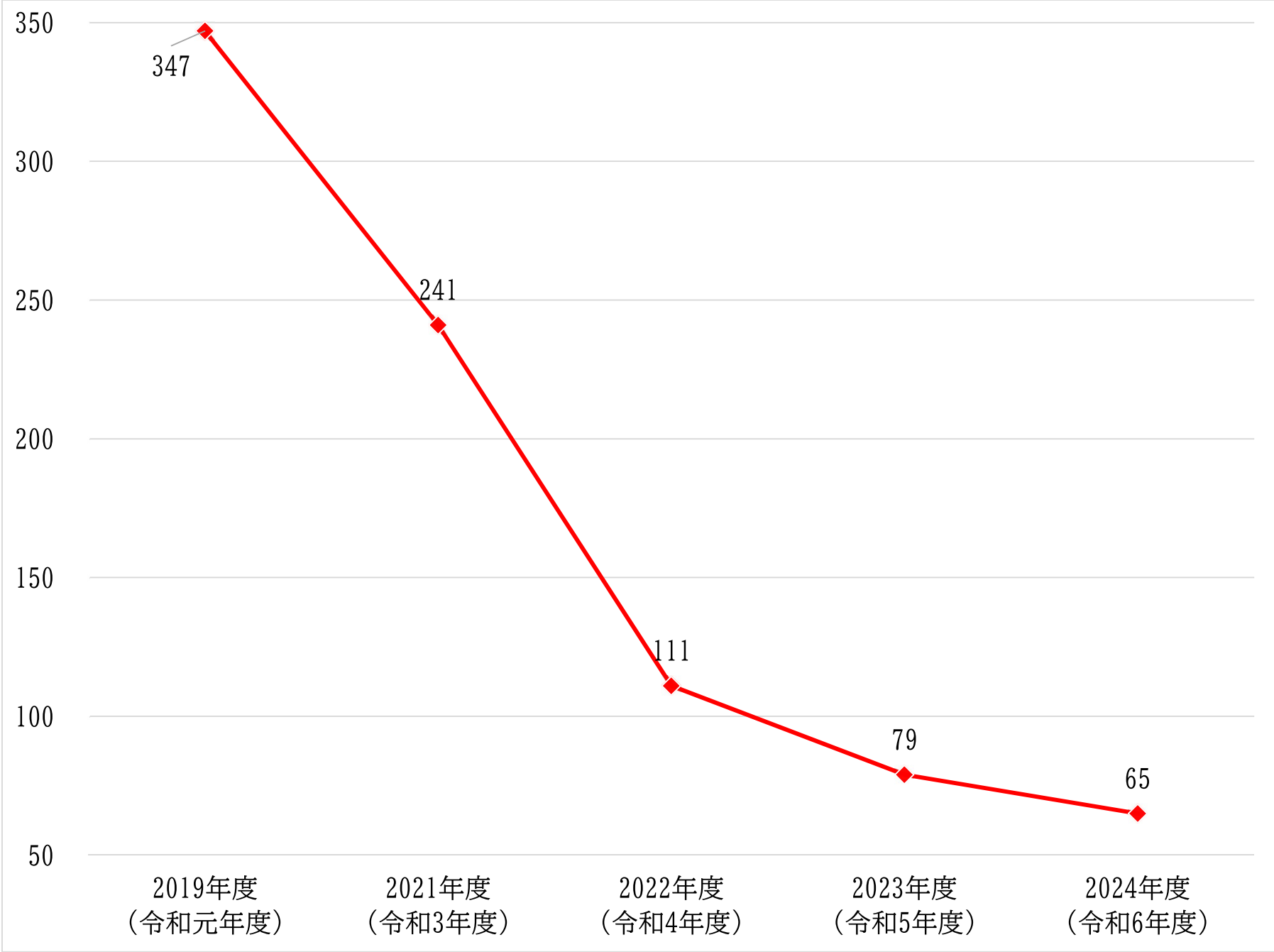
灯油使用量比較

単位：kl

	2019 年度 (令和元年度)	2021 年度 (令和 3 年度)	2022 年度 (令和 4 年度)	2023 年度 (令和 5 年度)	2024 年度 (令和 6 年度)
市民文化施設	60,198	54,510	66,517	65,990	63,000
社会教育施設	0	0	0	370	2,795
スポーツ・レク施設	93,779	76,044	102,631	69,950	108,465
観光、保養施設	53,807	43,336	41,730	32,591	15,994
産業施設	16,522	14,116	14,238	13,944	14,238
学校、給食センター	248,685	255,093	265,252	244,017	258,440
福祉施設	51,369	42,539	50,667	50,013	49,076
医療施設	7,247	3,148	3,155	5,090	5,225
庁舎、消防屯所	9,273	6,018	2,263	14,534	8,944
公営住宅	0	0	0	0	0
公園	285	300	158	430	482
上下水道施設	893	657	427	268	362
その他(火葬場、倉庫等)	39,304	40,902	41,781	39,436	35,237
車両	0	0	0	0	0
計	581,362	536,663	588,819	536,633	562,258

③A 重油使用量

単位：kl



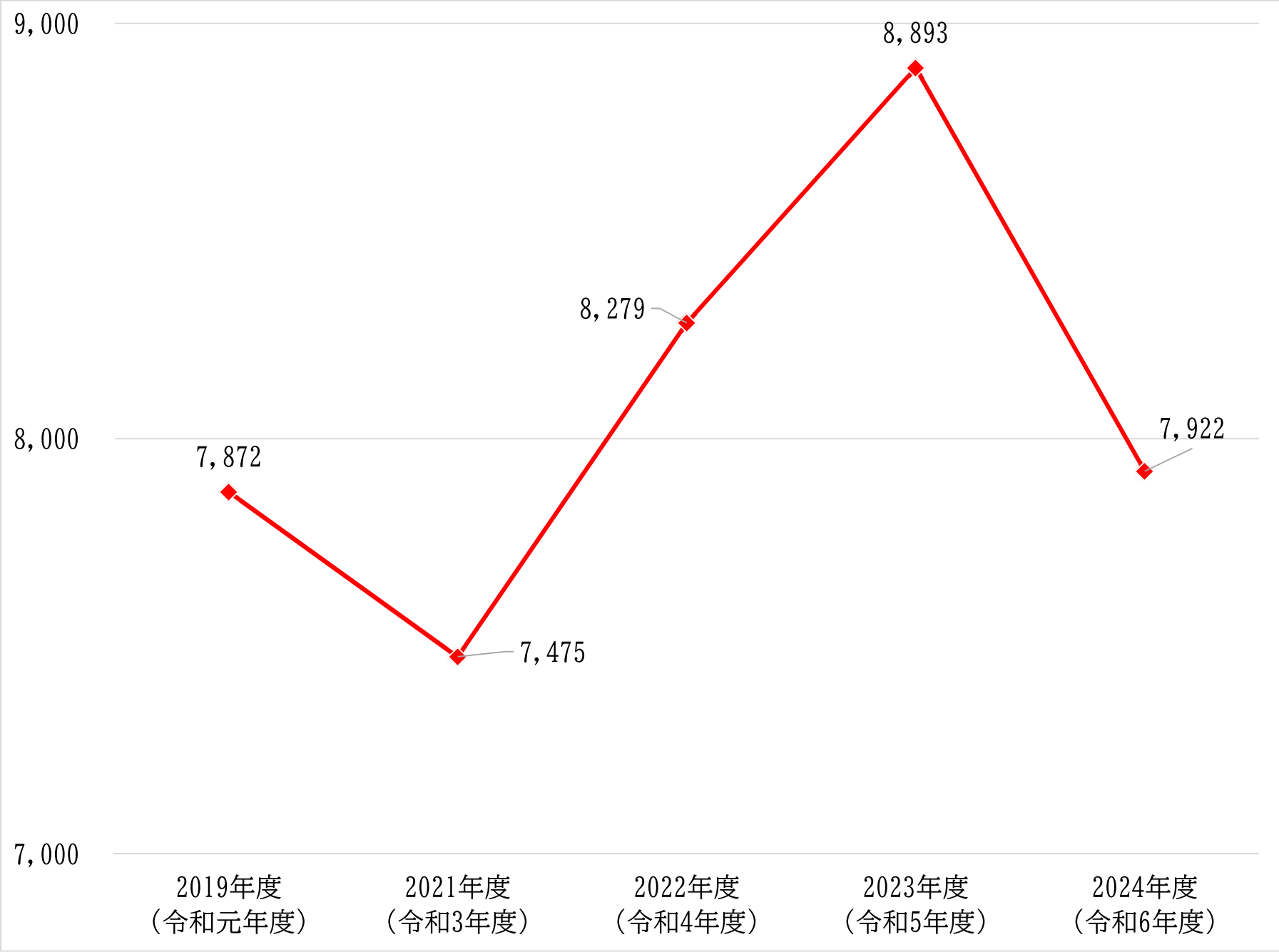
A 重油使用量比較

単位：kl

	2019 年度 (令和元年度)	2021 年度 (令和 3 年度)	2022 年度 (令和 4 年度)	2023 年度 (令和 5 年度)	2024 年度 (令和 6 年度)
市民文化施設	16	12	13	1	0
社会教育施設	1	0	0	0	10
スポーツ・レク施設	135	35	2	3	8
観光、保養施設	0	0	0	0	0
産業施設	0	0	0	0	0
学校、給食センター	0	0	0	0	0
福祉施設	59	57	49	43	45
医療施設	0	0	0	0	0
庁舎、消防屯所	136	134	42	28	2
公営住宅	0	0	0	0	0
公園	0	3	5	4	0
上下水道施設	0	0	0	0	0
その他(火葬場、倉庫等)	0	0	0	0	0
車両	0	0	0	0	0
計	347	241	111	79	65

④LP ガス使用量

単位：m³



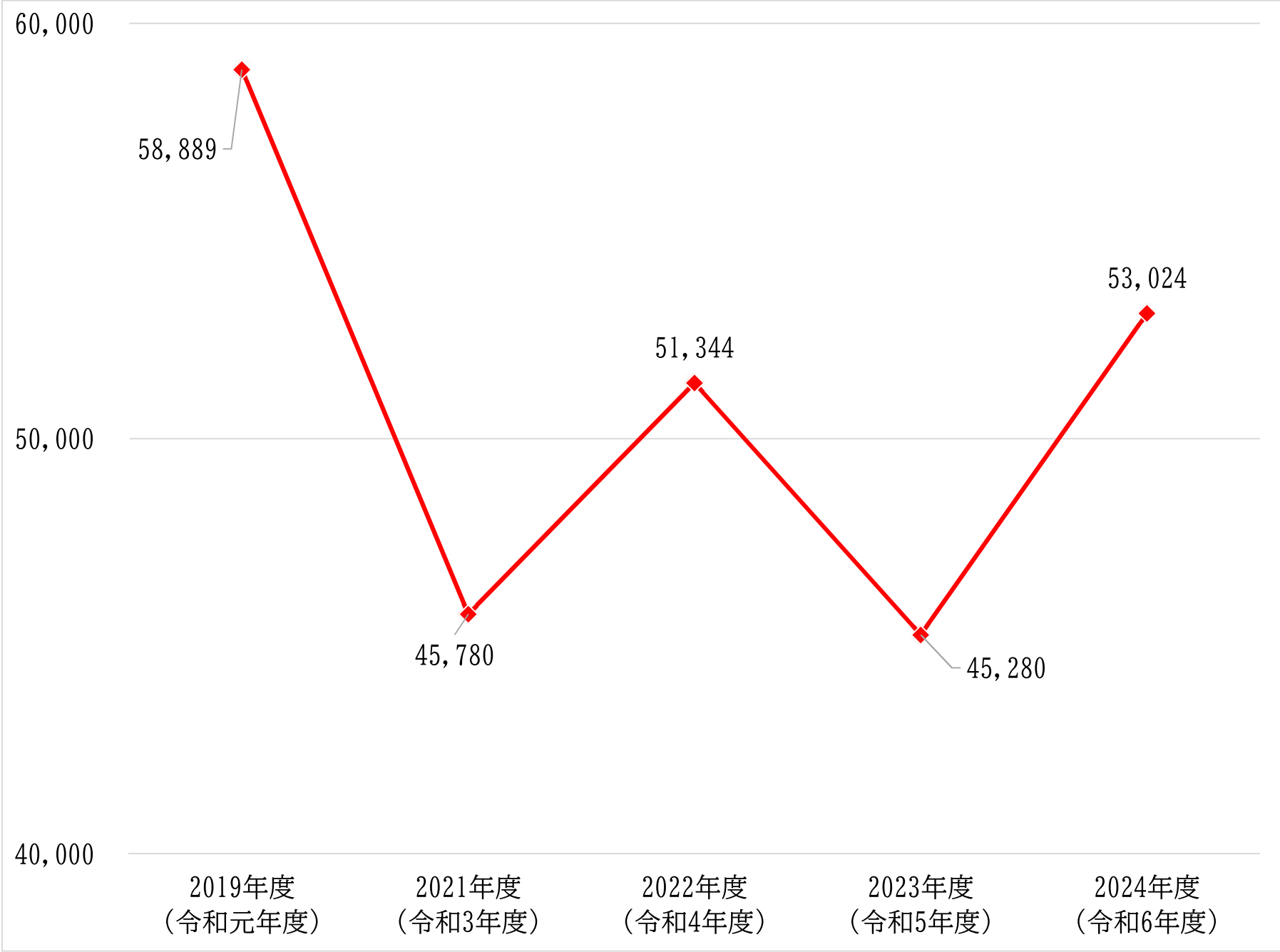
LP ガス使用量比較

単位：m³

	2019 年度 (令和元年度)	2021 年度 (令和 3 年度)	2022 年度 (令和 4 年度)	2023 年度 (令和 5 年度)	2024 年度 (令和 6 年度)
市民文化施設	79	4	1	19	0
社会教育施設	18	12	18	41	59
スポーツ・レク施設	0	0	0	0	0
観光、保養施設	4,782	4,694	5,295	5,690	4,800
産業施設	47	20	26	33	46
学校、給食センター	2,270	2,252	2,406	2,291	2,253
福祉施設	561	423	499	723	730
医療施設	4	9	0	10	3
庁舎、消防屯所	90	39	17	71	17
公営住宅	0	0	0	0	0
公園	0	0	0	0	0
上下水道施設	0	0	0	0	0
その他(火葬場、倉庫等)	21	22	17	15	14
車両	0	0	0	0	0
計	7,872	7,475	8,279	8,893	7,922

⑤ガソリン使用量

単位：l



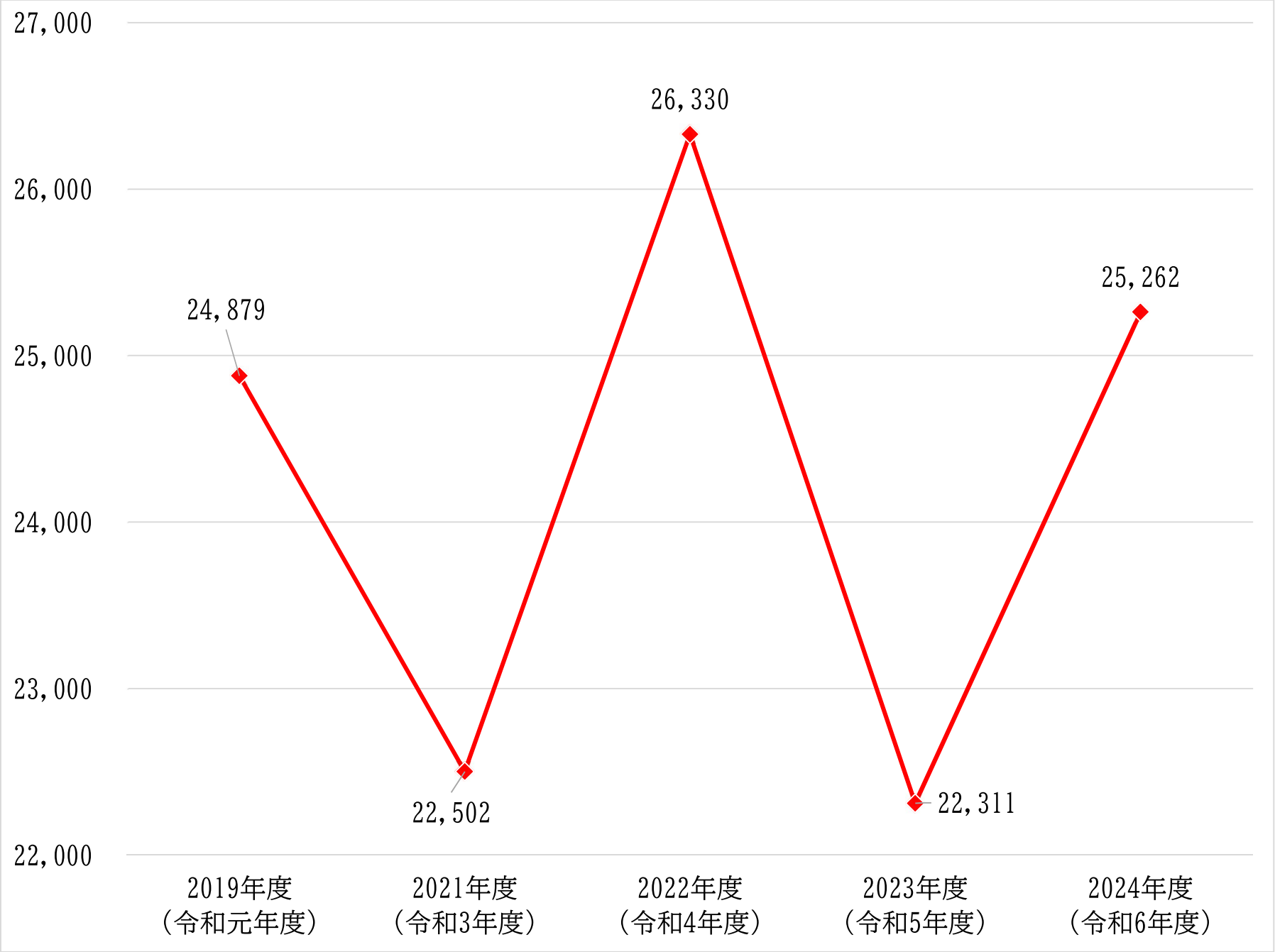
ガソリン使用量比較

単位：l

	2019 年度 (令和元年度)	2021 年度 (令和 3 年度)	2022 年度 (令和 4 年度)	2023 年度 (令和 5 年度)	2024 年度 (令和 6 年度)
市民文化施設	20	152	137	0	245
社会教育施設	0	0	0	0	18
スポーツ・レク施設	280	1,200	1,331	1,108	263
観光、保養施設	3,328	2,220	2,015	41	49
産業施設	403	0	0	0	20
学校、給食センター	0	0	0	1,886	2,954
福祉施設	0	0	0	0	0
医療施設	0	0	0	0	0
庁舎、消防屯所	0	0	0	0	1,141
公営住宅	0	0	0	0	0
公園	0	0	0	0	0
上下水道施設	0	25	65	47	29
その他(火葬場、倉庫等)	0	182	100	10	20
車両	54,858	42,001	47,696	42,188	48,285
計	58,889	45,780	51,344	45,280	53,024

⑥軽油使用量

単位：l



軽油使用量比較

単位：l

	2019 年度 (令和元年度)	2021 年度 (令和 3 年度)	2022 年度 (令和 4 年度)	2023 年度 (令和 5 年度)	2024 年度 (令和 6 年度)
市民文化施設	430	0	0	0	
社会教育施設	0	0	0	0	
スポーツ・レク施設	170	566	782	120	546
観光、保養施設	2,568	1,804	1,950	1,700	94
産業施設	0	0	0	0	102
学校、給食センター	0	0	0	0	143
福祉施設	0	0	0	0	0
医療施設	0	0	0	0	0
庁舎、消防屯所	0	20	20	0	
公営住宅	0	0	0	0	
公園	0	0	0	0	
上下水道施設	0	296	396	0	338
その他(火葬場、倉庫等)	0	36	36	36	72
車両	21,711	19,780	23,146	20,455	24,852
計	24,879	22,502	26,330	22,311	25,262

【二酸化炭素排出量が増加した要因】

○他人から供給された電気の使用に伴う二酸化炭素排出係数の変化

当市の電力使用量の約半分以上を占める電力会社の二酸化炭素排出係数が昨年度と比較し、約7.7倍になった。

○厳しい気象条件

夏の高温、冬の大雪、低温のため空調設備の使用が増えた。

○非常に多かった降雪量

除雪車や除雪機の使用頻度が増加した。

○コロナ禍の落ち着き

コロナ禍が落ち着いたことにより、学校では調理実習の回数が増加。その他各種施設の貸館等が増加している。

2024(令和6)年度の二酸化炭素排出量は、基準年の2019(令和元)年度を上回ってしまいました。

これは当市の電力使用量の約半分以上を占める電力会社の二酸化炭素排出係数が昨年度と比較し、約7.7倍になったことが大きな影響を与えています。

また、年末年始にかけて災害級の降雪量となったこともあり、燃料使用量も増えています。

近年、猛暑や大雨、大雪等の異常気象に見舞われることが増えています。どうしてもエネルギー使用量は気象条件に大きな影響を受けてしまいます。

職員一人ひとりが取り組むことのできる省エネは限られていますが、日々実践できることを確実に、そして継続することが重要だと考えます。

それに加え、木質バイオマス発電による再生可能エネルギーを使用するだけでなく、今後は「再生可能エネルギー(非化石証書付)電力プラン」を導入していくことも考慮していく必要があります。